

【日の出入り・月の出入り表】

2022年 1月

提供:国立天文台

日	日の出 時:分	南中時 時:分:秒	高度 度	日の入り 時:分	月の出 時:分	月の入り 時:分	月齢 12:00	備 考
1	7:24	12:24:30	33.8	17:25	5:35	15:40	27.8	元日
2	7:25	12:24:59	33.9	17:26	6:48	16:40	28.8	地球が近日点通過
3	7:25	12:25:27	34.0	17:26	7:56	17:48	0.4	新月
4	7:25	12:25:54	34.1	17:27	8:54	19:01	1.4	しぶんぎ座流星群が極大
5	7:25	12:26:21	34.2	17:28	9:42	20:13	2.4	小寒※1
6	7:25	12:26:48	34.3	17:29	10:22	21:21	3.4	
7	7:25	12:27:14	34.5	17:30	10:56	22:25	4.4	水星が東方最大離角※2
8	7:25	12:27:40	34.6	17:30	11:26	23:26	5.4	
9	7:25	12:28:05	34.7	17:31	11:54	---	6.4	金星が内合※3
10	7:25	12:28:30	34.9	17:32	12:21	0:25	7.4	(祝) 成人の日 上弦
11	7:25	12:28:54	35.0	17:33	12:49	1:22	8.4	
12	7:25	12:29:17	35.2	17:34	13:18	2:19	9.4	
13	7:25	12:29:40	35.3	17:35	13:51	3:16	10.4	
14	7:25	12:30:02	35.5	17:36	14:28	4:13	11.4	
15	7:25	12:30:24	35.7	17:37	15:10	5:09	12.4	
16	7:24	12:30:45	35.9	17:37	15:57	6:04	13.4	
17	7:24	12:31:05	36.1	17:38	16:50	6:55	14.4	冬至用※4
18	7:24	12:31:24	36.3	17:39	17:47	7:42	15.4	満月
19	7:23	12:31:43	36.5	17:40	18:47	8:23	16.4	天王星が留※5
20	7:23	12:32:01	36.7	17:41	19:47	9:00	17.4	大寒※6
21	7:23	12:32:19	36.9	17:42	20:48	9:33	18.4	
22	7:22	12:32:35	37.1	17:43	21:48	10:03	19.4	
23	7:22	12:32:51	37.4	17:44	22:49	10:32	20.4	水星が内合※3
24	7:22	12:33:06	37.6	17:45	23:51	11:01	21.4	
25	7:21	12:33:20	37.9	17:46	---	11:31	22.4	下弦
26	7:21	12:33:34	38.1	17:47	0:56	12:04	23.4	
27	7:20	12:33:46	38.4	17:48	2:04	12:42	24.4	
28	7:19	12:33:58	38.6	17:49	3:14	13:27	25.4	
29	7:19	12:34:09	38.9	17:50	4:26	14:21	26.4	
30	7:18	12:34:20	39.2	17:51	5:34	15:24	27.4	
31	7:18	12:34:29	39.4	17:52	6:36	16:34	28.4	天王星が東矩※7

- * 佐世保市(東経129° 43', 北緯33° 10')を基準に計算しています。出入り時刻は地平線での時刻とお考えください。
- * 月の出、月の入りが起こらない日があります。月齢は12時で計算しています。
- ※1 二十四節気の一つ 意味:寒の入りで、寒気が増してくる。
- ※2 最大離角は、地球から見た太陽と内惑星(水星、金星)との角距離が最大となる瞬間です。地球から見て内惑星が太陽の東側にあるときを東方最大離角(とうほうさいだいいりかく)、太陽の西側にあるときを西方最大離角(せいほうさいだいいりかく)といいます。東方最大離角のころは夕方西の空、西方最大離角のころは明け方東の空にあり、観望の好機となります。
- ※3 天体が地球からみて太陽の方向にあるのを「合」、反対方向にあるのを「衝」といいます。外惑星の場合は、「合」のとき地球から最も遠くなり「衝」の時最も近くなります。(最も大きく見えます) 内惑星(水星と金星)の場合は、太陽よりも遠い位置にある「外合」と、太陽より近い位置にある「内合」があります。
- ※4 土用:四立(立春・立夏・立秋・立冬)のおよそ18日前をいう。最終日が四立の前の日・節分になる。
- ※5 惑星は、通常天球上の恒星の中を西から東へとゆっくり移動(順行)していくように見えますが、時に東から西へ移動(逆行)することがあります。その移動の方向が変わる瞬間を「留」と言います。その後、再び西から東へ移動するようになる瞬間にも
- ※6 二十四節気の一つ 意味:冷気が極まって、最も寒さがつのる。
- ※7 火星・木星・土星などの外惑星が、地球から見て太陽と直角方向にある時を「矩(く)」といいます。西矩(せいく)の頃は明け方、東矩(とうく)の頃は夕方に外惑星が南中します。(矩は「さしがね」の意味です)